

社団法人格取得を視野に入れた会計基準の対応、そしてHPでの財務諸表の情報公開、その他LOMの財務管理全般を行いました。

会社において経理関係には全くのノータッチだったので、正直予定者段階ではかなり不安の渦に巻き込まれておりましたが、山陰専務や前任の木村財政局長のバックアップを得てなんとか予算案を作成するに至りました。その後、公益社団法人格取得への対応という事で公益社団法人セミナー等に参加し会計面の調査・研究を行いました。これが非常に難しい…。公益目的事業においては単年ではなく継続事業として事業毎に管理を行い、なおかつ全体予算に対しての事業比率が50%を越えなくてはなりません。まだまだ勉強不足ではございますが、次年度に向けて最適な引継ぎを行う事が重要であると考えております。そして只今年末に向けて決算業務の真っ最中であります。この基本資料を見る頃には無事決算も終わり安堵に包まれている事を願っております。

担当例会としては、7月例会及び8月例会を担当致しました。7月例会は湯沢市での秋田ブロック会員大会に合わせて移動例会を実施しました。ブロック大会への参加を経てLOMナイトという流れでしたが、湯沢市出身である鈴木憲委員長のご協力のもと非常に盛り上がった夜になりました。また、翌日の会員交流事業では松本副理事長の神がかり的な活躍もあり、一致団結した秋田JCは見事優勝する事が出来ました。これも例会テーマとして掲げていた「絆」が深まった証だと思えます。優勝賞品の大型液晶テレビ、松澤さん大事に使って下さいね。

また、8月例会ではOB会と合同で交流例会を行いました。秋田にて全国大会を開催した当時の映像やOBの先輩方の貴重なお話は、今後のLOMの事業を考えるにあたり非常に参考になりました。その後の懇親会でも笑顔が溢れ、世代を越えて現役会員とOB会員の絆を深める事が出来たと思えます。

今年は初理事という事もあり不安もありましたが、理事会での対応や時間の使い方等非常に勉強になった一年でした。ここまで来られたのも「たった一人の財政局」と時間を共に過していただいた金子局長率いる事務局の皆様、的確で敏速な会計実務を遂行していただいた松澤事務局員、そして理事会構成メンバーの皆様の温かいご支援があったからこそと思います。理事会で連発した「特にございません」や、年度当初に事務局次長とほぼ同化していたのも良い思い出です。本当にありがとうございました。最後に、このような機会を与えてくださいました小畑理事長に対し、心から深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 総務委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／木村 昭彦	副委員長／造酒 圭吾	運営幹事／三浦 圭介		
委員／北嶋 大輔	木元 恭平	塩田 和彦	玉野 博理	西村 幸彦
正木 大一	横山健太郎	渡部 和彦 (賛助)		

### ◎ 委員会日程

第1回	1月14日	事務局	定時総会、議事録について
第2回	2月9日	やまよし	定時総会報告、議事録について
第3回	3月9日	膳菜や	議事録についてほか

第4回	4月10日	橙家	議事録についてほか
第5回	5月8日	ラコルテ	議事録についてほか
第6回	6月8日	さかなや本舗	議事録についてほか
第7回	7月6日	事務局	議事録についてほか
第8回	8月17日	事務局	定時総会、9月例会、議事録についてほか
第9回	9月11日	事務局	定時総会、9月例会、議事録について
第10回	10月6日	橙家	定時総会・例会報告、議事録、資料作成について
第11回	11月6日	大昌園	議事録、資料作成について
第12回	12月4日	木村造園	臨時総会、議事録、資料作成について

#### ◎ 事業報告

2009年度総務委員会は、総会の設営、総会・理事会の議事録作成、基本資料・名簿の作成に掛かる事務作業、また今年度より新たに「公益法人格」取得に向けた諸対応を委員会業務としました。常に組織内部の事務作業を主とする事が多く、存在感を表に出す事が少ないところになりましたが、通年中業務を抱えた多忙な一年間であったと思います。

総会の設営は「ルーチンワーク」的な要素も多いのですが、実際の運営上では予期せぬ事が発生することもあり、「重要性」という総会の位置付けと相まって特段の配慮の必要性を痛感したことも事実です。今現在は12月臨時総会の実施前ですが、この事を重視しつつ、運営する気持ちでおります。

議事録の作成は、年間を通じた当委員会の最大の業務でした。事実、委員会の運営当初は、議事作成担当割・議事担当者の繁忙等でトラブルもあり、議事録署名の方々に日程等でご難儀をお掛けしました。しかし2008年度総務委員会の手法を参考にし、作成フローを再検討した結果、年間通じて「主となる者と従となる者のペア」で毎月の作成を担う事・作成用音源のデータ化・Web上でのデータ受け渡しを実施し、9月頃からは順調なペースで作成にあたる事ができました。子細な事ですが、効率化という側面では一つの成果であると思います。

基本資料・名簿の作成については、現時点で進行当初という事もあり、差し当たり報告する事はありません。ボリュームのある業務ですので、スケジュールに沿って進めていきたいと思っております。

「公益法人格」取得に向けた諸対応についてですが、多くの側面では私個人での業務遂行という結果になりました。この事について、委員長という任を受けた者として、真摯に反省する次第です。なお9月に実施した担当例会は、2009年度日本青年会議所の直前会頭の 小田與之彦氏より、「公益法人格取得を含めた将来のJC像」について講演いただきました。委員会業務の一端を、「講演」という形で成果を示した事を申し添えます。

振り返り、これらの業務の遂行は私個人が先導を切るだけは決して出来ない事だと、改めて痛感しました。副委員長・運営幹事・委員会メンバーの力を借りつつ、担当常任理事・その他多くの方々のフォローを持って成し得た事です。この場にて恐縮ですが、感謝の意を表したいと思います。また委員長指名を頂いた小畑理事長、様々なアドバイスを頂いた三役の皆様方に対し感謝を申し上げます。

一年間有り難う御座いました。

## 情報コミュニケーション委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／武石 純 副委員長／古谷 昌規 運営幹事／武蔵 哲貞  
委員／菅原 幸 高貝 栄治 土門 里安 丸野内真理子 村井 陽  
鎌田 祐輔

### ◎ 委員会日程

- |      |       |              |   |
|------|-------|--------------|---|
| 第1回  | 1月20日 | 橙屋           | 委員会役割担当・J Cニュース・HP                                |
| 第2回  | 2月6日  | 事務局          | J Cニュース・HP・3月担当例会・会員拡大                            |
| 第3回  | 3月6日  | 事務局          | J Cニュース・HP・3月例会担当役割・会員拡大                          |
| 第4回  | 4月6日  | 事務局          | J Cニュース・HP・4月事業取材担当役割・会員拡大                        |
| 第5回  | 5月8日  | 事務局          | J Cニュース・HP・5月事業取材担当役割・会員拡大・<br>全国J Cサッカー選手権大会     |
| 第6回  | 6月4日  | 事務局          | J Cニュース・HP・6月事業取材担当役割・会員拡大・<br>全国J Cサッカー選手権大会     |
| 第7回  | 7月3日  | 事務局          | J Cニュース・HP・7月事業取材担当役割・会員拡大・<br>全国J Cサッカー選手権大会     |
| 第8回  | 8月12日 | 山王龍          | 事務局 J Cニュース・HP・6月事業取材担当役割・<br>会員拡大・全国J Cサッカー選手権大会 |
| 第9回  | 8月30日 | 秋田マリーナ横の大浜岸壁 | 委員会交流・会員拡大  |
| 第10回 | 9月11日 | 事務局          | J Cニュース・HP・9月事業取材担当役割・会員拡大・<br>全国J Cサッカー選手権大会     |
| 第11回 | 10月2日 | 事務局          | J Cニュース・HP・10月事業取材担当役割・<br>会員拡大・全国J Cサッカー選手権大会    |
| 第12回 | 11月6日 | 事務局          | J Cニュース・HP・11月事業取材担当役割・会員拡大                       |
| 第13回 | 12月8日 | 事務局          | J Cニュース・HP・12月事業取材担当役割                            |

### ◎ 事業報告

今年一年間、公益社団法人格取得に向け、公益性の高いLOMの事業を理解していただけるよう、より多くの人々とコミュニケーションが図れる広報活動を重要なポイントとし、活動してまいりました。情報の共有化を図りつつ、情報の収集・伝達に関して地域・行政・各種メディアとの繋がりを密にとることで、積極的な広報活動を推進してまいりました。

ホームページにおいては各事業の開催のお知らせから、参加申し込みサイトの開設。事業終了後の報告。J Cニュースにおいては編集・作成・配信などの担当させていただきました。この様に本年を振り返ると、皆で連帯感を持って、一つの山を乗り切った様に思います。多忙でありながら、本当に充実した一年でした。

委員会を支えてくれた委員会メンバー、ご指導戴きました武藤副理事長・中村常任理事、そして委員長を任せて頂いた小畑理事長を始めとする執行部の皆様に対し、この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 世代間協働推進委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／能登谷正人 副委員長／菅原 渉 運営幹事／仙北谷 聡  
委員／足利 健 今野 尚之 小野寺正臣 佐々木寛人 樽川 正志  
那波 尚志 藤井 政徳 藤島 健 金谷 優（賛助）

### ◎ 委員会日程

第1回	1月8日	事務局	新年例会準備・最終打合せ
第2回	2月12日	事務局	意見交換会内容打合せ
第3回	3月6日	旭北コミセン	意見交換会打合せ・協力団体廻りについて
第4回	4月13日	協働大町ビル	意見交換会最終打合せ
第5回	5月12日	旭北コミセン	事業企画・検討
第6回	6月5日	旭北コミセン	事業企画・検討
第7回	6月20日	能登谷工務所	循環アグリ事業打合せ
第8回	7月3日	旭北コミセン	循環アグリ事業準備・打合せ
第9回	8月10日	セリオンプラザ	事業について
第10回	8月17日	旭北コミセン	事業について
第11回	9月14日	協働大町ビル	事業について
第12回	9月19日	協働大町ビル	事業について
第13回	10月6日	橙家	事業検証・後処理
第14回	11月6日	能登谷工務所	民話劇上映会検証・理事会報告等
第15回	12月8日	能登谷工務所	事業検証について

### ◎ 事業報告

【例 会】新年例会（2009年1月16日 シャインプラザ平安閣 秋田）

世代間協働推進委員会の担当例会は新年例会でした。2008年度より準備を進め、小畑理事長率いる2009年度(社)秋田青年会議所の第一歩の会として恥ずかしくない設えとすべく委員会メンバー一丸となって臨み、たくさんのメンバーからご協力をいただきながら無事開催いたしました。

#### 【事業】

- 1) 世代間協働事業意見交換会（2009年4月20日 協働大町ビル）
- 2) 循環アグリ体験事業（7月20日～11月23日 5回開催 雄和アグリ農園）
- 3) 秋田民話劇（7月31日～10月31日 練習15回開催 セリオンプラザ）
- 4) あきたふれ愛フェスタ～ミルヴェさいくべ～  
（2009年9月27日 秋田市大森山動物園ミルヴェ）

生きがいのある心豊かな社会の実現を目指し、三愛精神のもと2007年度より世代間協働事業は始まりました。本年で3年目となる当委員会においては、核家族化の進行や隣人への無関心により希薄になった地域や家族のコミュニケーション回復と共に郷土愛に溢れた笑顔が彩るまちあきた実現を目指し事業を展開いたしました。

まず4月に行政と諸団体、メンバーが入り混じり本年度事業の方向性を探る意見交換会を行い、参加者からは様々なご意見を頂戴いたしました。その中から多世代で時間と体験を共有しうる事業

を委員会内で模索し、大きな軸として二つの事業を進めることとなりました。

一つは自然を踏まえた物づくりというご意見をもとに、秋田市大森山動物園と協働し、動物園から出た『ゾウさん堆肥』を使用した畑に各世代が共に汗を流しながら野菜を育て、収穫した野菜を動物のごはんとして寄贈するという循環アグリ体験事業を展開いたしました。雄和でお借りしたアグリ畑では老若男女・国籍を問わず延べ150名を超える市民とメンバーが土に塗れ笑顔溢れる協働を実現いたしました。

そしてもう一つの軸としては、協働の継続は力となるのご意見から2008年度に同事業で開催した秋田民話劇『ふしぎなしおひきがた』をドールファミリーの平岡先生より2009年度版にリニューアルしていただき2008年度の参加者に新たなメンバーが合流し7月31日から計15回の練習を経て本番に挑みました。

この二つの協働のプロセスを経て9月27日には『2009あきたふれ愛フェスタ ～ミルヴェエさいくべ～』を開催いたしました。開催当日は参加してくれた子供たちが一生懸命頑張った民話劇の上演会、循環アグリ体験事業で育てた野菜の贈呈式、動物園に作った花壇にお花を移植するふれあい花ブース、あきた郷土カルタ大会、2007年度に行った復活版あいさつスタンプラリー、アグリ野菜で作った漬物とババヘラアイスを振舞ったあきた食ブース、青少年育成委員会で開催した『どうとくしんを伝える紙芝居』や環境行動推進委員会で開催の『みんなでつくろうオラバック』など委員会横軸連携も行い、様々な催しのなか、大森山動物園への入場者数4000人の笑顔で彩る一日となりました。

最後になりますが、本年度事業でご協力いただきました関係諸団体の皆様及びL O Mメンバーの皆様、委員長のがまままに最後まで笑顔でそして全力で応えてくれた委員会メンバーに、一年間親身になってご指導いただきました荻原副理事長・進藤常任に、そして本年度この機会を与えてくれた小畑理事長に心から、心からありがとうのK I S Sを贈ります♪

## 企業貢献力向上委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／伊藤 久嗣	副委員長／加藤 誠	運営幹事／筒井 崇之
委員／石川 仁	小川 優	佐々木勝一 猿田由紀夫 高橋 紀之
中泉 俊幸	船木 彰	山形 信之

### ◎ 委員会日程

第1回	1月13日	橙屋	アンケートについて
第2回	2月12日	事務局	アンケート・例会について
第3回	3月9日	事務局	例会・事業について
第4回	4月7日	事務局	例会・オープン委員会について
第5回	5月12日	橙屋	例会について
第6回	6月8日	事務局	オープン委員会について
第7回	7月7日	事務局	職場体験・少子高齢化について
第8回	7月21日	事務局	企業貢献力向上事業について

第9回	7月28日	事務局	企業貢献力向上事業について
第10回	8月18日	サンバル秋田	企業貢献力向上事業について
第11回	9月14日	事務局	企業貢献力向上事業について
第12回	10月9日	事務局	企業貢献力向上事業について
第13回	10月30日	サンバル秋田	企業貢献力向上事業について
第14回	11月9日	あみもと	企業貢献力向上事業検証
第15回	12月8日	事務局	事業振り返り

#### ◎ 事業報告

本年度、企業貢献力向上委員会では『「地域への思いを胸に」企業に求められる地域貢献力を養おう』をテーマに一年間活動してまいりました。地域企業やそこに働く一人ひとりが「地域へのおもいやり」を胸に地域貢献活動を主体的に行うことが「輝ける未来あきた」につながると考えスタートしました。

メンバー企業対象に意識調査から始まり、担当の5月例会では日本フィランソロピー協会の高橋陽子理事長をお迎えして、「地域活性化につながる企業の地域貢献を学ぼう」をテーマにご講演いただきました。地域貢献の変化、地域の抱える問題点、地域貢献活動に対する企業の考え方を学ぶことができました。

アンケート、例会を経て公開委員会を数回開催実施しました。その中から、地域の方々が困っていることを理解し、相談・協力する関係を築くことが企業に一番求められているという結論にいたりしました。そこで地域防災に着目し、メンバー企業で救命講習・地域の小学校・消防署・消防団と火の用心の実施、そして「防災協力企業」宣言を市役所に提出しました。

一年間、たくさんのごことを勉強させていただきました。委員会を支えてくれた委員会メンバー、細部にわたりご指導戴きました荻原副理事長・進藤常任理事、そして委員長を任せて頂いた小畑理事長を始めとする執行部の皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

#### 環境行動推進委員会

##### ◎ 委員会メンバー

委員長／鈴木 亮	副委員長／高橋 将行	運営幹事／根田絵美子
委員／越中谷正博	小山内直規	佐賀 晴樹 佐藤 宏樹 谷藤 政樹
中村 淳	萩原 博則	

##### ◎ 委員会日程

第1回	1月13日	味の蔵	2月例会について、サケの稚魚放流事業について 会員拡大について
第2回	2月4日	事務局	2月例会について、サケの稚魚放流事業について 会員拡大について
第3回	2月18日	事務局	サケの稚魚放流事業について、会員拡大について オープン委員会について
第4回	3月10日	事務局	サケの稚魚放流事業について、会員拡大について

			オープン委員会について
第5回	4月9日	事務局	サケの稚魚放流事業について、会員拡大について オープン委員会について
第6回	5月11日	事務局	オープン委員会について、サッカー全国大会について 会員拡大について
第7回	5月20日	事務局	オープン委員会について
第8回	6月9日	事務局	事業について、会員拡大について
第9回	7月8日	事務局	サマコンについて、会員拡大について
第10回	7月30日	事務局	事業について、会員拡大について
第11回	8月26日	事務局	事業について、会員拡大について
第12回	9月14日	事務局	事業について、サッカー全国大会について、 会員拡大について
第13回	9月29日	事務局	事業について
第14回	10月26日	事務局	事業について
第15回	11月21日	事務局	事業検証 HP コンテストについて

#### ◎ 事業報告

本年度環境行動推進委員会では「おこそうムーブメント この地球を守るために」をテーマに、以下の通り1年間活動して参りました。

#### ◎ 2月担当例会

テーマ「今の地球、これからの地球、私たちがやるべき環境保護活動」

環境保護運動の効果を様々な視点から知ること、メンバーそれぞれが意識を高め家庭や企業等で今すぐに取り組める環境保護運動を学びました。

講師：東京大学特任教授 進藤 勇治氏

#### ◎ 4月サケの稚魚放流事業

テーマ「みんなで行動しよう！この豊かな自然を守る為」

サケの稚魚放流事業が実施された意義をメンバー一人ひとりが再確認し、一人でも多くの参加者に伝えていく場としました。

#### ◎ オープン委員会

テーマ「共に考え取り組もう、より良い環境保護運動を目指して！」

2月例会で学んだ内容を踏まえ、委員会内で考えた環境保護につながる運動の素案に対し、行政や他団体との協議の中から、身近で尚且つ効果的な環境保護運動をより多くの方々と共に行う為の手法を考える場とし、今後の事業に活かしました。

協力：TOKI工科ファッション専門学校・秋田市環境部・国際教養大学

#### ◎ あきたエコスタイル運動2009

テーマ「オラバック（ORAバック）で買い物に出かけよう」

手軽で身近な所から取り組めるエコバックを製作し利用することで、より多くの方々に資源の節約を実践してもらい、環境保護に対する意識の高揚をはかりました。

協力：TOKI工科ファッション専門学校・秋田市環境部・国際教養大学

## 青少年育成委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／鈴木 憲 副委員長／山内 武 運営幹事／浅利 太郎  
委員／相場 隆広 石川 大使 加藤 恒 柴田 博幸 菅原 陽（賛助会員）  
富田 猛 船越谷一郎 山田 力 阿部 隆志

### ◎ 委員会日程

第1回	1月13日	協働大町ビル	オープン委員会について
第2回	2月5日	協働大町ビル	オープン委員会について
第3回	3月6日	協働大町ビル	オープン委員会について
第4回	4月7日	協働大町ビル	オープン委員会について
第5回	5月8日	協働大町ビル	事業について
第6回	6月10日	協働大町ビル	事業について
第7回	7月9日	協働大町ビル	事業について
第8回	8月7日	協働大町ビル	事業について
第9回	9月14日	協働大町ビル	11月担当例会について
第10回	10月2日	協働大町ビル	11月担当例会について
第11回	11月6日	キャッスルホテル	11月担当例会について
第12回	12月8日	キャッスルホテル	今年の委員会活動について

### ◎ 事業報告

今年の青少年育成委員会は「相手を想う気持ちから生まれる道徳心を育もう」をテーマに大人の想いと子供の想いがお互いに伝わらない事で多くの事件が引き起こされ、それに伴い、道徳心の低下が叫ばれる中、我々が先祖代々から引き継いできた道徳心を生活規範として、幼児期から子供達に愛情と理解を持って伝える事で心豊かな青少年を育成する為に事業を行ってきました。

子供に想いを伝えるには、はじめに大人が学ばなければならぬと考え、4月には講師に鈴木みどり先生をお招きし、「能動的な会話から育む道徳心」というテーマの下、オープン委員会を開催しました。ここでは、子供が白いボールを投げてきたら、白いボールのまま投げ返す。そうやって、子供の気持ちを汲もうとする姿勢から、大人の想いが伝わっていくという事を学びました。また、対象が低年齢層である為、常に子供と接している方々にもご参加いただき、意見交換会を行いました。

8月にはオープン委員会の意見を参考に「みんなあつまれ！見て！遊んで！育むどうとくしん」というテーマの下で事業を秋田県児童会館で行いました。オープン委員会で学んだ能動的な会話をもとに委員会で「どうぶつのはいしゃさん」という紙芝居を作成しました。オープン委員会でご講演いただいた鈴木みどり先生には紙芝居の監修を行っていただき、また、オープン委員会にご参加いただいた、若松亜紀様には作画をご担当いただきました。親子で紙芝居を楽しんでいただいたあとは、プラ版を使ったどうとくしんキーホルダーを親子で作成していただきました。表面には委員会で考えた8つのどうとくしん「おもいやり」「やくそく」「もったいない」「あいさつ」「いのち」「しょうじき」「ありがとう」「うやまう」を記入していただき、裏面には子供たちの好きな絵を描いてもらいました。この8つの道徳心の頭文字を上から読んでいくと「親も愛し合う」という語呂

合わせになっており、ここにも委員会メンバーの想いが込められております。

この設えを1日3回行いましたが、やはり、1回目よりも2回目、2回目よりも3回目という具合に徐々に完成度が高くなっていくにつれ、メンバーの想いも熱くなっていくのが伝わってきた事業でした。

11月例会では、当委員会の1年間の事業をメンバーに振り返りとしてご報告した上で、親業訓練協会 特別顧問 近藤千恵氏に「子どもにあなたの想いが伝わっていますか?」というテーマの下にご講演をいただき、改めて、子供に大人の想いを伝える事の重要性や大人と子供との間にしっかりとした架け橋があって、はじめて、お互いの想いが通じ合うものであるという点に気付きを得る事ができました。

最後に1年間を通して、当委員会に多大なるご尽力、ご協力をいただいた、団体、個人の皆様、またJCメンバー各位におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、初委員長で不慣れであるにもかかわらず、この私を委員長と慕って最後まで一緒に笑って楽しく活動してくれたメンバーの皆さん、ありがとうございます。そして、新任理事である私を常に温かく見守って下さった松本副理事長と小野常任理事、そして小畑理事長へ感謝申し上げます。とても幸せでした。

## 人間力開発委員会委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／児玉 大祐      副委員長／菅原慎次郎      運営幹事／細谷 太郎  
委員／大沼 一弘      吉川 脩      熊澤あゆ子      住谷 知洋      滝田 敏喜  
田崎 宏一      芳賀 洋介      秦 裕勝

### ◎ 委員会日程

第1回 1月15日 橙家 「学の夏休み」、4月例会について  
第2回 2月9日 橙家 「学の夏休み」プログラム内容、4月例会について  
第3回 3月9日 橙家 「学の夏休み」事業展開、4月例会について  
第4回 4月15日 事務局 4月例会について  
第5回 5月11日 橙家 「学の夏休み」、HANAUTA倶楽部 in 新屋高校について  
第6回 6月8日 橙家 「学の夏休み」について  
第7回 7月2日 事務局 「学の夏休み」実施準備・研修  
第8回 8月17日 橙家 「学の夏休み」検証・実施準備  
第9回 9月9日 ひてん 「学の夏休み」検証・実施準備  
第10回 10月9日 醍醐 「学の夏休み」検証・実施準備  
第11回 11月9日 事務局 「学の夏休み」検証・卒業生を送る会について  
第12回 12月10日 醍醐 事業検証・卒業生熊澤さんを送る会

### ◎ 事業報告

我々人間力開発委員会は、本年が3年目となる「学の夏休み」を実施することを主軸に、HANAUTA倶楽部、TOYP倶楽部あきたのサポート、協働運動への協力などの事業を展開しました。

私自身が2007年1月入会で、まだJCというものをしっかりと理解できたとはいえない中、委員会メンバーに恵まれ、周辺の皆さんにたくさんのご協力をいただきながら何とか1年間委員長を務めることが出来ました。皆さんに感謝いたします。

主軸にすえました「学の夏休み」では、小学校3～4年生を対象として秋田市の旭北小学校、牛島小学校、明德小学校、旭川小学校、外旭川小学校、旭南小学校、上新城小学校、四ツ小屋小学校、仁井田小学校の9校、潟上市では東湖小学校、そして高橋大輔委員長率いる「おもいやりの心」推進委員会の事業、「親子おもいやりスクール」内と、計11箇所において実施を行うことが出来ました。なるべく多くの子供たちと一緒に「道徳心」「思いやりの心」「命の大切さ」などについて考える機会を設けたいと考えておりましたので、その目標についてはある程度達成できたかと思っております。

事業が主に平日の昼間の開催となる中、多数の実施にもかかわらず委員会メンバー、そして歴代の人間力に携わった委員長である金子事務局長、中村常任理事、武石委員長が常に必要なテーブルコーチの人数を満たすべく参加していただきました。大きな負担になることもあったと思いますが、そのおかげで事業に参加した子供たちと十分なコミュニケーションをとり、彼らと一緒に学ぶことが出来たのではないかと思っております。

たくさんのお話を訪問し、先生方とお話をする中で多くの先生から同じようなお話をいただきましたので、それをここで報告させていただこうと思います。『今世間では子供たちの道徳心、心の問題が大きく取り上げられてはいるが、しかし子供たちのほとんどは今でも十分素直で、問題の無い子供たちが多い。本当に問題が多く、今すぐにでも対処しなくてはいけないのは「親」だということ。』、このようなお話を半数以上の学校の先生方からいただきました。保護者に対するプログラムは無いのか、といったご質問も多く、実際に学校側のご希望により旭北小学校では子どもたちだけではなくPTAの授業参観において保護者も参加の上「学の夏休み」プログラムを実施しております。しかしまだまだ保護者、地域の大人に対するプログラムとしてしっかりしたものがあるとはいえず、今後、「道徳」や「心」の問題を取り扱っていく上で、考えていかななくてはならないことだと思われまます。

TOYP倶楽部あきたのサポートでは、社会福祉法人 一羊会 知的障害者通所更生施設杉の木園さんのご協力として、夏祭りのサポートを主としたいくつかのお手伝いをさせていただきました。夏祭りでは恒例となる焼き鳥の屋台をさせていただいております。

HANAUTA倶楽部のサポートでは、明德館高校、新屋高校、和洋高校にて職業講話、ジョハリの窓を利用した性格分析、「夢」「希望」といったものをテーマとしたグループディスカッションを行いました。「学の夏休み」との対象の年齢・求めるものなどの大きな違いから、最初は私を含め非常に難しく感じたメンバーが多くいましたが、小学生とはまた違った職業や将来の生活などに関する悩み、質問を受け、非常にやりがいのある事業であったと思っております。

また、協働事業への協力として、秋田ブロック協議会にて行われました秋田県知事選の公開討論会のサポートをさせていただきました。非常に沢山の方がご参加になり、選挙に対する非常に大きな関心を感じるとともに、こういったことに参加する・聞きたいと思ったださる方がどうしても年齢層の高い方に偏りがちであるという状況も目の当たりにし、若い世代に対しどのように政治、選挙に興味を持ってもらうかが今後の課題であると思われました。



かをディスカッションしていただきました。オープン委員会での貴重なご意見を委員会メンバーと検討し調査した結果、あきたにとって雄物川水系はなくてはならない貴重な存在であることに気づきました。そこで、あきたにとって貴重な存在である雄物川水系を多くの市民の感性に働きかけ、地域のさらなる魅力となる必要があると考えました。そこで雄物川の歴史や、あきたにもたらす恵み、あきたの特徴ある「顔」を明らかにし、市民の関心を高めることで、愛着と誇りがもて、雄物川水系に人が集い、今後のまちづくりの素材として活用していただくために、12月6日「あなたとわたしの雄物川 体験ツアー」を開催いたしました。小学5・6年生の親子を対象に雄物川悠久ライン屋形船を利用し、普段見られない視点から雄物川を見ていただき、クイズ・ハンドブックを利用し、雄物川について知っていただきました。後半は雄和地区の湧水で作る和紙を使った工作体験を出羽和紙工房にて行い、思い出に残るものを作っていただいたと思います。雄物川の魅力を再認識し、地域への愛着と誇りを高めていただけたかと思っております。

この1年間の活動を通じ、多くの皆様より多大なるご支援をいただき、また、製作したハンドブックにご理解を示していただき、厚く御礼申し上げます。

最後になりますが、1年間大きな心で見守っていただいた川口副理事長、田口常任理事、そして1年間支えてくれた地域の魅力創造委員会の皆さんに心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

## 「おもいやり」の心推進委員会

### ◎ 委員会メンバー

委員長／高橋 大輔      副委員長／田中 浩行      運営幹事／大工原 潤  
委員／伊藤 宏基      貝田 信洋      金山 智秋      上神田正利      川嶋 俊巳  
葛巻孝一郎      辻 康平      米澤 弘晃

### ◎ 委員会日程

第1回	1月15日	秋田情報プリント	交流事業、担当例会について
第2回	2月9日	秋田情報プリント	交流事業、担当例会、サッカー全国大会について
第3回	3月9日	秋田情報プリント	交流事業、担当例会、募金活動について
第4回	4月14日	秋田情報プリント	交流事業、担当例会、事業Ⅰについて
第5回	5月1日	秋田情報プリント	交流事業、事業Ⅰ、事業Ⅱについて
第6回	5月10日	一つ森公園	交流事業事前準備、事業実施
第7回	6月9日	秋田情報プリント	担当例会、事業Ⅰについて
第8回	7月6日	秋田情報プリント	事業Ⅰ、事業Ⅱについて
第9回	8月1日	まんたらめ	事業Ⅰ事前準備
第10回	8月10日	膳菜や	事業Ⅱについて
第11回	8月18日	秋田情報プリント	事業Ⅱ 青年フォーラムについて
第12回	9月9日	秋田情報プリント	事業Ⅱ 青年フォーラムについて
第13回	10月2日	秋田情報プリント	事業Ⅱ サッカー全国大会について
第14回	11月10日	膳菜や	事業Ⅱについて

第15回 12月8日 秋田情報プリント 事業Ⅱについて

◎ 事業報告

「おもいやり」の心推進委員会のこの一年は言葉通り「息つく暇がない」一年でした。私たちの委員会の担いは利他の精神を思い返し、相手を想う心の大切さとその心を地域に広げようというものでした。

3月には羽後町の安藤ひろき君の心臓移植に伴う募金活動を行いました。多くの皆様にご協力をいただき、ひろき君は無事に渡米し手術を受けることができました。現在も経過は良好のようです。この場をおかりして御礼申し上げます。

そして5月には交流事業を一つ森公園で行い多くのメンバーとそこご家族に参加していただき開催することができました。大工原幹事の企画で行ったゲームでは、絶対に当ててはいけない川口次年度が罰ゲームとなり会場を盛り上げてもらいました。皆様からたくさんのご協賛をいただき感謝申し上げます。

そして6月には特定非営利活動法人いのちをバトンタッチする会、代表の鈴木中人氏をお招きし、例会を開催させていただきました。鈴木先生の実体験に基づくお話から多くのことを学びました。人が根本から変わる時、難有→有難う。残り半年の活動だけではなく、人生に多くの学びをいただきました。

そして8月に太平山自然学習センターまんだらめにて親子おもいやりスクールを開催しました。当日は天候も良く、ほぼ時間通りにすべてのプログラムを終了することができました。動員ではとても難儀しましたが、田中副委員長をはじめとしてメンバーが一丸となり、無事開催することができました。

9月には青年フォーラムの渉外対応として南相馬にいてまいりました。懇親会ではJ Cサッカー全国大会のPRもあり、雨の中、最後まで残っていただいた皆さんに心より感謝申し上げます。土地柄とてもアットフォームな雰囲気な旅館での二次会にも多くのメンバーに参加いただけたこと心より感謝申し上げます。

そして最後の事業としてら・ブックノートを作成しました。相手をおもいやる心、私たちも大切にしていかななくてはならない利他の精神が広がっていくことを願っています。

今年一年間、公私ともに委員会メンバーには多くの励ましをいただき、紆余曲折を経て一年を終えることができました。またご指導いただいた小松常任、鈴木副理事長にも心から感謝申し上げます。そしてすべてのメンバーの皆さんのご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

会員拡大会議

◎ 委員会メンバー

議 長／加賀屋久人 副議長／佐々木創一 運営幹事／古賀 美洋  
議 員／嶋田 誠 米村 徹

◎ 委員会・会議日程

【委員会訪問・拡大会議】

第1回～第8回 全委員会訪問後実施 拡大推進報告、面接式・名刺交換会準備

各委員会メンバー意識付け、J Cスクール準備

- 第10回 10月2日 上期・下期拡大反省  
第11回 11月6日 卒業式準備・J Cスクール準備  
第12回 12月8日 卒業式準備

【拡大スタッフミーティング】(会員拡大会議・各委員会副委員長)

- 第1回 1月28日 ユースパル 拡大進捗報告、上期面接式・J Cスクールの件  
第2回 2月17日 ユースパル 拡大進捗報告、上期J Cスクール内容の件  
第3回 3月2日 ユースパル 拡大進捗報告、上期面接式について  
第4回 5月18日 ユースパル 拡大進捗報告、上期J Cスクール内容の件  
第5回 6月18日 ユースパル 拡大進捗報告  
第6回 7月15日 ユースパル 拡大進捗報告  
第7回 8月25日 ユースパル 拡大進捗報告  
第8回 9月18日 ユースパル 拡大進捗報告、下期面接式について

◎ 事業報告

【面接式】

- 上期面接式・名刺交換会(2009年3月24日 秋田キャッスルホテル)  
下期面接式・名刺交換会(2009年9月28日 秋田キャッスルホテル)

【J Cスクール】

- 上期：4月～6月 計4回  
下期：10月～11月 計4回

【担当例会】(常任理事と共同)

- 12月例会・卒業式(2009年12月9日 秋田キャッスルホテル)

【拡大実績】

- 上期(平成21年度7月入会者) 8名  
下期(平成22年度1月入会者) 7名

本年度で5年目を迎える会員拡大会議、本年度はよりL O M全体で拡大するという意識付けをするため、年度当初より各委員会副委員長と連携をとり、毎月開催の委員会で拡大について議論する時間を設けていただき、必ず拡大会議議員が同席をさせていただきました。L O Mメンバーの拡大に対する気持ちは、多少個人差はあったものの、日を追うごと高まっていたように感じました。各委員会の副委員長をはじめとする、ご協力いただいたメンバーの皆様にはこの場を借りて心より御礼申し上げます。拡大会議のメンバーも精一杯頑張りましたが、結果的には、折からの不景気の影響もあり、思ったような結果が出ず、拡大担当として担いを果たせませんでした。本当に力不足を痛感する一年間となっしまい、大変申し訳なく思っております。

しかし、新たに迎えた上期8名、下期7名の仲間達は、大変優秀で、必ずや今後の秋田J Cの中核を担っていただける方々だと確信をしております。

2009年度の最後として、2010年度の拡大に対し、万全の引継ぎをしまいいります。一年間ありがとうございました。

## (7) 出向者報告

### (A) □□日本青年会議所東北地区協議会

#### 出向を終えて

(社)日本青年会議所 東北地区協議会 事務局

次 長 相 場 隆 広

「まさか、相場が出向するなんて」。

多くの方に、このようなお声がけを頂きました。

歯科医師という立場上、限られた時間の中での私の J C 活動ですが、なぜか今年は東北地区協議会へ出向させて頂きました。

自分の L O M での活動もままならない状況で、「右も左も分からないのに、なんでこんな事になっちゃったんだろう?」と思いながら、車を運転して役員会議の場にたどり着きました。

すると「いい男っているもんだなあ」。

身のこなし方から、話しの間の取り方、目線の配り方、相手の方への配慮の仕方。本当に驚きました。すばらしい方ばかりで、本当に勉強になりました。

時間の都合上、なかなか出席できない事が多く、長谷川ブロック会長にはご迷惑をおかけいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

男磨きになった、私の出向でした。

このような機会を与えて下さいまして、L O M の皆様に感謝申し上げます。

#### 地区出向を終えて

(社)日本青年会議所 東北地区協議会 「真日本建国」創造委員会

副委員長 菅 原 慎次郎

本年度、東北地区協議会「真日本建国」創造委員会副委員長を拝命し出向させていただきました。東北地区協議会には初めての出向と言うことで不安や戸惑いなどがありましたが、沢山の方々からのサポートや温かな助言をいただき、この1年間、副委員長と云う役職を遂行できたのも周りの皆様のおかげと考えております。この場を借りて御礼申し上げます。

秋田 J C から当委員会への出向者は私 1 人だけとあって多少寂しい思いもありましたが、委員会メンバーとの交流や、先々での楽しい設えが燃費の悪い車を東北各地へと走らせたと言っても過言ではありません。また、昨年も出向し感じた事ではありましたが、改めて出向の良さを本年度も感じた 1 年間でした。

最後になりましたが、本年度出向するにあたり快く送り出して下さいました小畑理事長に心から心から御礼申し上げます。

## 地区出向を終えて

(社)日本青年会議所 東北地区協議会 東北ゼミナール委員会

### 幹事 塚田大樹

今年度、時田ゼミ長の下、幹事として東北ゼミナール委員会へ出向させていただきました。今まで訪れたことのない地へ行けるとあって、行きは遠足気分でルンルンでしたが、帰りは次回委員会までにやるべきことを時田ゼミ長と車中で打ち合わせをしていたような気がします。(時田ゼミ長に往復のほとんど運転をさせてしまいました。すみません。)

さて、東北ゼミナール委員会では、地産地消の推進をテーマに掲げ、食育(教育)という観点から地産地消を推進していくためにはどうすれば良いのか、また推進されるとどのような効果が生まれるのかを東北各地から集った仲間と研究しました。地産地消が推進されることで地域経済の活性化や更なる郷土愛の向上につながることを期待されますが、それは一朝一夕で出来るものではありません。継続的な事業を展開することによって初めて一人ひとりの意識が代わり、その結果として成し得るものだと学びました。

また、ASPACでは東北の食をPRするためブース出展しましたが、提供する料理・食材を決定する過程において地元の特産物を再発見・再認識することができ、良い機会となりました。そして東北青年フォーラムにおいては、公開ゼミナールの発表前日にもかかわらず夜遅くまでリハーサルや作業を行いました。みんなの最後まで諦めないという強い気持ちが本番を成功に導いたと思っております。

幹事として至らぬ点が多々あり、特に時田ゼミ長を始めゼミ生の方々にはご迷惑をお掛けしましたが、東北各地から出向された仲間と濃密な時間や考えを共有出来たことは、貴重な経験であり財産となりました。

最後になりましたが、LOMの皆様からたくさんのご支援・ご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 出向を終えて

(社)日本青年会議所 東北地区 東北ゼミナール委員会

### 委員 浅利太郎

今年度、東北地区東北ゼミナール委員会へ出向させていただきありがとうございました。ブロックへの出向は幾度か経験させていただいておりましたが、地区への出向は初めての事でした。1年間の活